

会議要旨

会議の名称	令和４年度 第１回おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議	
日 時	令和４年８月２９日（月曜日）１４時００分から １５時３５分まで	
場 所	おいらせ町役場本庁舎 ２０１会議室	
出席者等	委 員	【出席者】（８人） 木村 賢一（副会長）、南 士氏、杉山 智明、藪 豊子、高渕 華奈子、中村 綱吉、赤石 英二、小川 雅幸 【欠席者】（２人） 河村 信治（会長）、志村 博
	事 務 局	政策推進課 課長 柏崎 勝徳、課長補佐 袴田 笑美子、主任主査 馬場 祐二
傍聴者数	０ 名	

１．開会
※事務局の進行で開会。（１４：００）

２．会長あいさつ	
発言者	発言内容
木村副会長	外部の人間が色々な意見を言わないと、今までと同じことがずっと続いてしまい、新しいことが取り組めないまま終わってしまうのではないかと感じています。戦略会議では、KPI といった達成指標の評価や検証等が出てきます。なかなか意見を反映させることは難しいとは思いますが、おかしいところや課題を見つけたら、どんどん発言してほしいです。小さいことでも良いので、１つでも２つでも、この会議の中で、改善や提案が出来たら良いなと思います。
※あいさつの後に、戦略会議に初めて出席する南委員、藪委員、高渕委員、中村委員、事務局員の馬場が自己紹介を行った。	

3. 案件	
(1) 昨年度の活動報告（これまでの経緯）について	
発言者	発言内容
事務局	次第3の案件に入ります。案件の進行は副会長にお願いいたします。
木村副会長	それでは、案件について、事務局から説明をお願いします。
事務局	会議資料の2ページをご覧ください。 案件（1）昨年度の活動報告について、説明します。 【資料2～4ページの案件（1）①～④、別紙1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度指標（KPI）の達成度（改訂版）を説明】 ここで、一度質問を受け付けます。
委員	別紙1のKPIについて質問です。基本目標②のNo8 年間観光客入込数の算出の仕方を教えてください。
事務局	この指標は、商工観光課で算出しております。百石まつり等の町イベントや町の観光施設の来場者の積算となります。
木村副会長	他にありませんか。
委員	意見なし
木村副会長	では、引き続き説明をお願いします。
事務局	会議資料の4ページをご覧ください。 案件（1）昨年度の活動報告について、説明します。 【資料4ページの案件（1）⑤、別紙2 令和3年度総合戦略事業評価・検証調書等を説明】
木村副会長	質問はありませんか。
委員	意見なし

(2) 新規事業検討（幹事会）の報告について	
発言者	発言内容
事務局	会議資料の4ページと別紙3をご覧ください。 案件（2）新規事業検討（幹事会）の報告について、説明します。 【資料4ページ、別紙3「新規事業の検討について」を説明】
木村副会長	質問はありませんか。
委員	意見なし

(3) 案件総合戦略関連事業検証部会の開催について	
発言者	発言内容
木村副会長	次に案件（3）について、説明をお願いします。
事務局	会議資料の4ページと別紙4をご覧ください。

事務局	案件（３）総合戦略関連事業検証部会の開催について、説明します。 【資料４ページ、別紙４「検証事業について」を説明】
木村副会長	質問はありませんか。
委員	KPI はどのように設定したのでしょうか。前から、この KPI の設定がおかしいのではないかという質問があったと思います。本来は KPI が達成されると人口減少が解決されるのだと思いますが、この KPI だと目的とリンクしていないように思えます。去年、検証した百石高校魅力アップ事業についても疑問で、塾への助成金をあげたことで効果があるようには思えなかったです。この KPI の設定について教えてほしいです。
事務局	KPI についてお答えします。KPI とは、重要業績評価指標のことで、この事業を実施すると KPI 数値が達成できるといった、事業の達成指標のことを言います。確かに、総合戦略の目的と直接関連する指標ではないものもあるかと思いますが、しかし、数値として結果を示せるものは項目ごとに限定されており、事業の達成指標を直接数値化できないものも多くあるため、例えばアンケート等で満足度を数値化できるもの、農業出荷額等で数値が分かるものを極力達成指標に結び付けております。目的に直接関連した KPI を設定することは難しいですが、今後も総合戦略を続けていくうえで、協議していきたいと思います。
委員	数値だけで判断や検証が難しいものを数値に置き換えて評価したらどうかということなのでしょうけど、ぴったり合うか合わないかは疑問です。そのことについては、事前の理解が重要だと思います。おいらせ町は、青森県で人口が伸びていると思いますが、なぜなのかと言いつけていました。その理由を知りたいと言ってきたのですが、残念ながらまだ分からないままです。
事務局	おいらせ町は３市に囲まれている等の移住者が増える要因はありますが、理由はまだ分かっておりません。そのこともあり、現在大学と共同で、おいらせ町に移住者が増えている理由等を調査できないか検討しています。予算の問題もありますが、もし実現できれば疑問を解決できるのではないかと思います。
委員	私も数年前に移住してきましたが、おいらせ町は地価も安くて、補助金も出るということで移住を決めました。住んでみると心配していた雪が少なくて安心しました。移住してきた理由ですが、一番は地価が安い、次に雪が少ないことが大きいような気がします。おいらせ町に住んで、八戸市などに働きに行けることができるのも強みだと思います。あとは、もっと働く場所があればいいのかなと思います。地元の高校を卒業しても、働くために県外に出てしまう人が多いのではないのでしょうか。百石高校の食物調理科にしても、地元のレストラン等が少ないので、就職できないのではないのでしょうか。県外に出ていった子どもたちが帰ってきてやすい何かがないと、高齢者の多い町になってしまうような気がします。
委員	働ける場所をつくるとしたら、地元企業にお願いしたり、町が募集したりとやれることが絞れてくると思います。あと給食費無料化等のように、子どもを育てる環境も重要になってくると思います。
委員	高校、大学に通うために出ていった子どもたちも、地元就職先があれ

	ば、帰ってくると思います。もっと就職先を増やす事業が必要なのではないでしょうか。
木村副会長	ありがとうございます。他にありませんか。
委員	人口の増減を調べるのであれば、地区別の人口を調べてはどうでしょうか。私の感覚ですが、木ノ下地区がとても増えていて、ほかの地区が減っている状況なのかなと思います。私も北部地区で子育てしていますが、転勤族が多く、いつか出ていくのではないかと感じています。先ほど、子どもが出ていくとっておりましたが、親も出ていくとも思います。個人情報観点もあるかと思いますが、そのような対策も必要だと感じます。詳細な調査・検証が必要なのではないかと思っています。
事務局	地域ごとの住民の増減は、転出・転入の状況から分かります。検証事業の候補の中にある「甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金」に関連しますが、町では北部地区の人口が大きく増えております。町の総合計画でも地区別計画を検討する等ありますが、今後調査等を行い、地区にあった具体的な施策を検討していくべきではないかと考えております。そういった部分でご意見等をいただければと思います。
委員	なぜ、甲洋・下田小学校区の人口が減っているのでしょうか。
事務局	一番の原因は、今まで都市計画の関係で住宅が建てることできないことだと考えております。
委員	今も住宅を建てることできないのでしょうか。
事務局	去年の9月から都市計画が見直され、前よりは建てることができますが、甲洋小学校区は、農業用地なども多いので、他の地域と比べると住宅が建てることできない場所が多い状況です。下田小学校区は、旧下田町の発祥の地ですが、地理的に奥入瀬川の南側にあるため、交通網の不便な状況にあります。しかし、自然が好きな方や静かな場所を好む方には良い場所だと感じます。
委員	私も近隣の市から移住してきていますが、こういう施策は新築や中古住宅の購入に限るものが多いと思います。今の時代は、家を建てる人より賃貸を借りる人の方が多いので、まずはアパートを探すと思います。私も移住したときに思ったことは、下田小学校区や甲洋小学校区は探してもアパートがなかったです。結果、木ノ下地区に住んでいるので単純なことなのではないかと思っています。なので、あまり立地は関係なく、アパートがあるかないかだと思います。
委員	勤務先からの距離も大きいでしょうね。私も職場から歩いて通える距離に賃貸を借りていますが、周りにたくさんアパートがあります。おそらく近くに勤めている方が住んでいるのだと思います。木ノ下地区は、当時土地の値段が安くて驚きました。三沢市や六ヶ所村に通う人にとってはとても便利だと感じます。先日町の広報紙と一緒に防災マップがポストに入っていました。その防災マップをみると、海に近いところは津波の浸水想定区域になっていましたが、木ノ下地区はそうになっていないです。災害のことも考えると海に近い地区より、北部地区に人が住むように思えます。工業団地も海沿いにありますが、意外と会社や工場がたくさんありますね。先日、町の都市計画が改正されたとありました。これから都市計画も住みやすく変わってくると思うと、おいらせ町は明るい兆しがあると思います。子どもたちも多いですし、若い夫婦も多いですし。おいしいお店、フィットネス、コインランドリー等のお店ももっと

	増えれば良いなと思います。この戦略会議もこういった話題を話し合える会議になればいいなと思います。
--	--

(4) 地方創生に関する意見交換について	
発言者	発言内容
木村副会長	今まで話し合ったことを踏まえて、順番にご意見をいただきたいと思います。
委員	これから必要なものと関連付けていかなければならないのかなと思います。百石高校の食物調理科が就職のために県外に行ってそのまま地元に戻ってこないことが多いとの意見が出ていましたが、例えば、町内の空き家などを活用して、飲食店を始める等の話題を SNS で発信するなどの話題作りをはじめ、注目されていることの情報発信が大事に思えました。
委員	高校生になって地元を離れた世代をどうやって地元に戻ってきてもらうかについて、県民局で関連する事業を実施しています。高校生に話を聞いてみると、自分の地元は家と学校のことしか知らなくて、学校を卒業すると家しか知らないとのこと。地元企業について、全然知らないし、先輩・後輩のつながりも卒業すると薄れてくるという感じです。そうすると、地元で知っている人が親しいなくなり、戻りづらいという話もありました。地元とつながり続ける関係がづくれていないのが原因かなと考えています。なので、県では U ターンを考えている人に地元の企業やキーパーソンみたいな先輩や後輩などの面白い人を紹介する事業を実施しています。まだ始めたばかりの事業なので、これから徐々につながりをつくっていけたらと思います。あと、この SWOT 分析はとても面白いもので、案件にもありましたが、新規事業案とどうつなげていくかとありました。こういったアイデアがより具体的になってきたら、県の補助金等やモデル実証事業を活用して、事業化してほしいと思います。
委員	月や年に数回、高校生や小さい子とか向けに、町内のお店や会社では、こういうものを売っているよとかこういうものを作っているよとかを紹介したら、町の活性化につながるのではないかと思います。
委員	私は結婚してからここに住んでいます。おいらせ町を選んだ理由は、私も家族も近隣の市で働いていて、おいらせ町がちょうど中間だったことと、ちょうど知り合いがここに住んでいて、住みやすさとかを知っていたので選びました。歩いてイオンに行けるし、飲食店もあるので、便利だと感じています。子どもがいまして、とても育てやすいですが、美術館、図書館、科学館のような、他の市町村に住んでいる方が魅力的に感じる施設が足りないと感じています。例えば、子どもが大きくなってくると、大きいプール等がある町に行くと、遊んだ帰りに道の駅とかに寄ったりします。なので、おいらせ町に魅力的な施設があれば、人が立ち寄ってくれるのかなと思います。八戸市には「まちにわ」という施設があり、雨が降っても子どもたちが遊べるというのが魅力です。おいらせ町も下田公園といちよう公園の近くにそういった施設があれば良いのかなと思います。あと、下田公園にもキャンプ場があって、新規事業検討の中にもアウトドアのグランピング化をふるさと納税にというものあ

	りますが、関係なく、キャンプ場で遊び疲れた後に泊まれたり、子どもたちだけで泊まれたりできる施設やカワヨのようなラフな感じで、1日中遊んで帰れるような場所があれば良いなと思います。まちづくりについてですが、地区別に補助も必要だと思いますが、全体的に人が減ってくるので、地域ごとに医療も買い物もできるコンパクトなまちづくりになれば、永住を考えてくれる人が増えてくれるのではないのかなと思います。
木村副会長	色んな意見がでていますね。夏の下田公園キャンプ場は、車を止められないくらいたくさんの方が来ていますよね。私もキャンプ場を見に行ったことはありますが、こういった活かし方を、町に意見するのが大切です。
委員	一点、質問です。委員には移住してきた方が多い気がしますが、そういった方を選んでいるのですか。
事務局	選んでいないです。
委員	活発な意見が出ていますね。私も転勤でいろんな市町村を回っていますが、地元に住んでいる人ほど意外と自分の町をPRしないんですよ。東京や外から来た人の方が、その町の魅力に気づいているように思えます。私も久しぶりに自由の女神があるいちょう公園に行きましたけども、こんなに広くなっているとは思いませんでした。なので、外部から来た人の意見や地域おこし協力隊の意見を吸収して、まずは町にずっと住んでいる人に町の魅力を気づいてもらって、外から来た人と中に住んでいる人の意見がぶつかれば、高い評価が出てくるのではないかなと思います。
委員	一番強く思うのが、去年から言っておりますが、情報発信の弱さを早急に改善すべきだなと感じています。新規事業検討にYouTubeを活用した動画発信とあり、やっと出てきたなと感じています。最近少し思うのが、人にお金を使った方が良いのではないのかなと思います。成功している町の事例を見ていると、一人の人にお金を使っているような気がしています。諸刃の剣かもしれませんが、リーダーが出てくれれば、そこから引っ張りあげられて、活性化してくのかなと思います。なので、おいらせ町はリーダー不足かなと思います。また数値化できないと評価が難しいと言っておりますが、逆に数値化できないものこそ、こういった場で評価した方が良いのかなと思います。なので、あまり数値や評価を気にせず、自信を持っても良いのかなと思います。
委員	私も近隣市町村からおいらせ町の北部地区に移住してきて、子育てをしています。この戦略会議、検証部会を崩すことは難しいと思いますが、例えば制度とかを考えると、逆に我々みたいな委員が入れる機会があった方が、全て終わった後に結果を伝えられるよりも、即効性がある効果的なのかなと思います。去年委員をやり、改めて、自由の女神を見に行き、遊戯も滑り台もあり、飲食もできることを知りました。1個の性質だとそこで終わってしまうので、2個、3個とあった方が良いと思いますし、物より事、体験できるようなものと、町民もそうだし、クラブツーリズムもそうだし、県外からの移住定住にもつながっていくのかなと思います。予算もあるかなと思いますが、どんな町か見てみたいという移住希望者に予算を使うのも良いのではないかなと思います。そうすると、人口が減っていくのはしょうがないのですが、目指すべき

	人口 19,000 人を維持できるのかなと思います。
木村副会長	いろんな視点がありますね。世の中は変化しているので、町もいろんな角度から、物事を見て行ってほしいと思います。最後、事務局にお願いですが、あるものを評価するのではなく、新しいものを考える会議にしてもいいのではないかと思います。他に何かありませんか。
事務局	事務局から検証部会の部員の選任の確認がございます。昨年度は、戦略会議の委員から、河村会長、木村副会長、退任した福田委員、赤石委員、小川委員の 5 名が部員となっておりました。今年度も委員の中から 5 名の部員を選任したいと思っております。
事務局	今の件に補足します。具体的には資料の 4 ページをご覧ください。事務局としては、立候補者等がいなければ、昨年度と同じ 5 名にお願いしたいと考えております。また退任した福田委員については、後任の高淵委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。
委員	意見なし
木村副会長	では、事務局案でよろしいと思います。では案件が全て終わりました。ありがとうございました。

4. 閉会
※閉会する。(15 : 35)